

# しものせき キッズページ

このページは、小・中学生に向けて、小学生によるさまざまな仕事体験を紹介し、記事は梅光学院大学子ども学部子ども未来学科の学生が作っています。

しょうぼうしょ しょうごたいけん  
**消防署でお仕事体験!!**



▽7月号の編集記者…阿武瑞季さん(前列左)、伊津野 舞さん(前列左から2番目)



久保田恵美さん  
江本未來さん  
柴垣颯真くん  
柴垣遥人くん



下関市消防局。消防防災学習館が1階にあります。

今回は、中央消防署で「消防士さんのお仕事体験」です。西山小学校4年生の久保田恵美さん、江本未來さん、柴垣颯真くん、2年生の柴垣颯真くんと一緒に消防士さんのお仕事を体験してきました!

## ② 消防指令センター



① 火消線での体験学習  
火事が起きた時は、消火器を使って初期消火をすることが大切。消火器の使い方は、黄色い栓を「ピン」と抜いて、ホースを「パン」と押す。火元に消火剤を掛けることが重要だよ。  
避難のときは煙に注意。煙避難体験では、真っ暗な迷路のような部屋で、どうやって避難するかを体験できるんだ。煙は空気が軽くて天井にたまるから、低い姿勢で口を布で覆いながら逃げるのが大事なんだ。

119番の時のことや事故の時にかけたらここにつなげるんだ。ここでは、119番をかけてきた人に、火事なのか救急なのかを確かめて、次に場所を確かめて、近くにいる消防車や救急車を出勤させるんだ。実際に119番にかけて通ると、慌てず、質問にしっかり答えることが大事だね。あと忘れちゃいけないことがあった! いたずらは絶対にダメだよ。いたずらで119番しても、どこからかたかすぐに分かつちゃうからね!



避難のときは、「あ」「は」「し」「も」を覚えておこう!



③ 火消車体験  
最後に、はしご車体験をさせてもらったよ! 市内には、はしご車が3台あるんだけど、この中央消防署にあるはしご車が一番大きくて、高さ40メートル(ピルの13階~14階)まで伸びるんだって。小学生のみんなもはしご車に乗せてもらって、一気に40メートルの高さまで連れて行ってもらったよ。みんな最初は怖そうだったけど、降りてきた時はすごかったって興奮してたよ!  
今回、中央消防署で体験をさせてもらい、私たちの生活を毎日しっかりと守ってくれているんだってことを感じたよ。小学生のみんなも、消防士さんの頼もしさや格好良さに感動! 火消車では、防災のことを体験しながら学ぶことができるから、ぜひ行ってみてね。